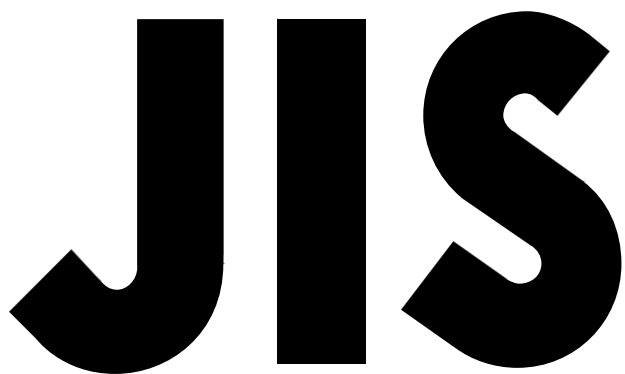




建築用ドア金物の試験方法 — 第 2 部：ドア用金物

JIS A 1510-2 : 2019

(JTCCM/JSA)

平成 31 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
(委員)	石 川 裕	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	加 藤 信 介	東京大学名誉教授
	鎌 田 崇 義	東京農工大学
	橘 高 義 典	首都大学東京
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	棚 野 博 之	国立研究開発法人建築研究所
	西 野 加奈子	一般社団法人建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	藤 田 聡	東京電機大学
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	村 川 まり子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会 (鎌倉市消費生活センター)
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会 (一般社団法人建築研究振興協会)
	山 崎 徳 仁	独立行政法人住宅金融支援機構
	吉 野 裕 宏	国土交通省大臣官房官庁営繕部

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 13.3.20 改正：平成 31.2.20

官 報 公 示：平成 31.2.20

原 案 作 成 者：一般財団法人建材試験センター

(〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-10-15 JL 日本橋ビル TEL 03-3527-2133)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験の項目	2
5 試験の一般条件	2
5.1 数値の丸め方	2
5.2 試験条件	2
6 試験方法	2
6.1 丁番の繰返し開閉試験及びグラビティヒンジの繰返し開扉試験	2
6.2 戸当たりの衝撃試験	5
6.3 上げ落しの落とし棒の押込み試験	6
6.4 上げ落しの落とし棒の衝撃試験	8
6.5 用心鎖及びガードアームの引張試験	8
7 試験報告書	10
附属書 A（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	12
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人建材試験センター（JTCCM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 1510-2:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS A 1510 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 1510-2 第 2 部：ドア用金物

JIS A 1510-3 第 3 部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ

建築用ドア金物の試験方法—第 2 部：ドア用金物

Test method for door fittings of buildings—Part 2: Fittings for door

1 適用範囲

この規格は、建築物の開口部の戸に用いる金物のうち、丁番、グラビティヒンジ、戸当たり、上げ落とし、用心鎖及びガードアームの試験方法について規定する。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を、**附属書 A** に示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 4702 ドアセット

JIS B 7503 ダイアルゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7524 すきまゲージ

JIS B 7721 引張試験機・圧縮試験機—力計測系の校正方法及び検証方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

グラビティヒンジ

トイレブースなどに使用するせり上がり丁番。閉扉は、戸の自重によって行われる。

3.2

ガードアーム

鎖の代わりに棒状、ループ状又は板状の部品を用いて開扉を制限するドア用金物。